

安全報告書

2024年(令和6年)版

三陸鉄道株式会社

この報告書は、鉄道事業法に基づき公表するものです。

社 員 行 動 指 針

【安全・安心の提供】

私たちは、安全の確保を最優先し、お客様に安心して利用いただける鉄道運行を行います。

【お客様の満足度の向上】

私たちは、常にお客様の視点に立って、満足いただけるサービス・商品の提供に努めます。

【地域振興への貢献】

私たちは、地域の皆様や関係機関と力を合わせ、産業振興や地域の活性化に貢献します。

【社会的責任の遂行】

私たちは、地域の一員としての自覚を持ち、明るく住みやすい社会の実現のために行動します。

【社員力の向上】

私たちは、常に問題意識を持ちながら自己研さんに努め、必要な変革に挑戦します。

安 全 基 本 方 針

- 1 安全の確保は、輸送の生命である。
- 2 規定の順守は、安全の基礎である。
- 3 執務の厳正は、安全の要件である。
- 4 連絡の徹底と確認の励行により、職責を越え協力一致して事故を防止する。
- 5 事故や災害が発生した時は、最も安全と認められる方法で人命最優先に行動する。

目 次

1	社長からのメッセージ	1
2	安全基本方針と安全目標	
2-1	安全基本方針	2
2-2	安全目標	2
3	安全管理	
3-1	安全管理体制	3
3-2	安全管理方法	4
4	安全重点施策	
4-1	保安・防災対策	5
5	安全対策の実施状況	
5-1	防災対策	8
5-2	社員教育	10
5-3	その他	11
6	輸送の安全の実態	
6-1	運転事故等の発生状況	13
6-2	災害等の発生状況	13
7	お客様とのコミュニケーション	13

1 社長からのメッセージ

平素は三陸鉄道に格別のご理解、ご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

2024 年 4 月 1 日、三陸鉄道は 1984 年 4 月に全国初の第三セクター鉄道として開業してから 40 周年を迎えることができました。これもひとえに、通勤・通学・お買い物などにご利用いただいていた沿線地域の皆様、県内外から訪れていた観光客の皆様、震災や台風で大きな被害を受けたときに復旧・復興にご尽力いただいた皆様、三陸鉄道を温かくご支援いただいていた皆様のおかげであり、心から感謝申し上げます。

三陸鉄道は、地域の人口減少や資材・燃料の高騰など厳しい環境に置かれておりますが、開業 40 周年を迎えた今年度は、岩手県の秋季観光キャンペーンなどのチャンスを生かした魅力的な企画列車の運行や情報発信の強化、「みちのく潮風トレイル」の人気などを契機としたインバウンド対応の強化など、様々な分野の皆様と連携を図りながら、地域住民の足の確保と交流人口の増加等による地域振興に取り組んでまいります。

鉄道の最大の使命である安全運行を確保し安心な輸送を提供するため、老朽化した橋梁の改修、枕木のコンクリート化、連動装置の更新、通信ケーブルの更新等の工事を実施することにより事故防止に取り組み、2023 年度も鉄道運転事故 0 件、インシデント 0 件を継続しています。

本報告書は、鉄道事業法第 19 条の 4 に基づき 2023 年度に実施した安全確保のための取り組みや鉄道運転事故・輸送障害の発生状況等について報告するものです。

ご一読いただき、ご意見、ご感想をお聞かせくださいますようお願い申し上げます。



代表取締役社長
石川 義晃



開業 40 周年 P R イベント



4 両編成の震災学習列車

2 安全基本方針と安全目標

2-1 安全基本方針

安全の確保に関する基本的な考えは、平成18年10月1日に制定した安全管理規程に「安全基本方針」として定め、社員行動指針と共に職場内に掲出することにより安全意識の高揚に努めています。



安全基本方針

- 1 安全の確保は、輸送の生命である。
- 2 規程の遵守は、安全の基礎である。
- 3 執務の厳正は、安全の要件である。
- 4 連絡の徹底と確認の励行により、
職責を越え協力一致して事故を防止する。
- 5 事故や災害が発生した時は、最も安全と
認められる方法で人命最優先に行動する。

2022年4月 代表取締役社長 石川 義晃

2-2 安全目標

安全管理規程、運転取扱実施基準等に定める安全基本方針に基づき、輸送の安全の確保を最優先とする意識と関係規程類の遵守を徹底し、次のとおり安全目標を定めその達成に向けた施策を実施します。

- 鉄道運転事故 ゼロ
- 重大インシデント ゼロ

※「鉄道運転事故」、「重大インシデント」とは鉄道事故等報告規則（昭和62年2月20日 運輸省令第8号）第3条及び第4条に規定する内容をいいます。

※2023年度は鉄道運転事故、重大インシデントともに0件で目標達成しています。

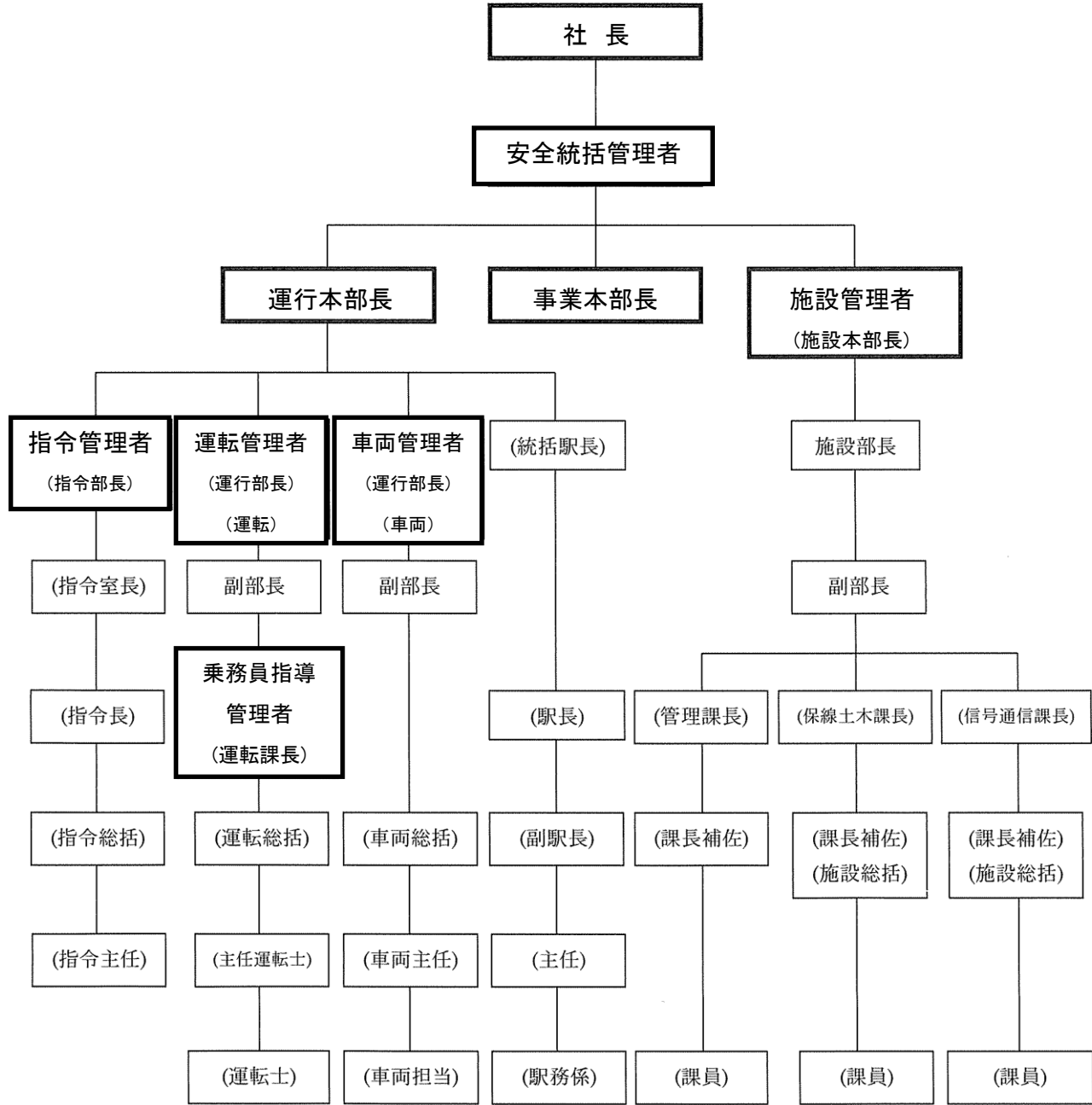
3 安全管理

3-1 安全管理体制

安全管理規程において、輸送の安全を確保するための社内の体制は安全管理体制図のとおりとなっています。

社長が選任した安全統括管理者のもとに運転管理者並びに安全を確保するための各部門の責任者を定め、その役割や権限等を定めています。

安全管理体制図



3-2 安全管理方法

(1) 安全管理委員会

安全管理委員会規則に基づき、社長・安全統括管理者・運転管理者ほか運行の安全に関する社員により構成された安全管理委員会を年に4回開催します。

(2) 安全基本方針の掲出

安全管理規程第2条に規定する安全基本方針を全職場に掲出することにより安全意識の徹底を図ります。

(3) トップによる現場巡回

社長による社員の面談を1年に1回実施し社員の意見を直接聞き取ります。

異常時訓練会、年末年始の安全総点検等において、社長、安全統括管理者等の現場巡回を1年に3回以上実施します。



年末年始の輸送等安全総点検で現地視察を行う社長と安全統括管理者

(4) ヒヤリハット事例の収集

ヒヤリハット（事故には至らなかったものの危険だと感じた事象）の報告様式を定め、社員からの報告を積極的に収集し安全管理委員会等で改善策の検討を行い、事故の未然防止に努めるとともに、安全に対する意識の向上を図ります。

4 安全重点施策

4-1 保安・防災対策

国や自治体からの補助金を活用して、老朽化設備の保安度向上のための各種施策を計画的に実施しています。

(1) 2023年度に実施した主な保安・防災対策

項 目	内 容	事業費
線路設備 (橋りょう)	安全性向上のため、盛駅～陸前赤崎駅間、陸前赤崎駅～綾里駅間、綾里駅～恋し浜駅間、吉浜駅～唐丹駅間、平田駅～釜石駅間、堀内駅～野田玉川駅間の8橋りょうで高欄改修、断面改修工事を行いました。	38,820 千円
線路設備 (枕木)	安全性向上のため、盛駅～綾里駅間の枕木834本をP C枕木に交換しました。	66,382 千円
信号保安設備 (連動装置)	老朽化対策として、田野畑駅、普代駅、野田玉川駅のリレーの更新工事を行いました。	117,014 千円
保安通信設備 (通信線)	老朽化対策として、唐丹駅～釜石駅間の通信ケーブル8,966mの増設、更新工事を行いました。	90,455 千円

工事実施前後の写真



橋りょう高欄改修（前）



橋りょう高欄改修（後）



枕木交換（P C化）（前）



枕木交換（P C化）（後）



継電連動装置更新（前）



継電連動装置更新（後）



通信ケーブル更新（前）



通信ケーブル更新（後）

(2) 鉄道駅総合改善事業

項 目	内 容	事業費
宮古駅移動等円滑化施設整備事業	高齢者や車いす利用者等の移動に係る利便性及び安全性の向上として、宮古駅跨線橋へ2基のエレベーター新設工事を行ないました。	501,024 千円

工事実施前後の写真



駅舎側 1 番線



2、3 番線側

5 安全対策の実施状況

5-1 防災対策

○強風対策

24箇所に設置した風速計で風速を監視し、瞬間風速20m/s以上で25km/h以下の徐行運転を行い、瞬間風速25m/s以上で列車の運転を見合わせています。



三杯式風速計



風速監視装置

○降雨対策

12箇所に設置した雨量計で時間雨量、連続雨量を監視し、区間ごとに規制値を定め徐行又は運転見合わせを行っています。

河川の増水に対しても基準を設け、列車の安全を確保しています。



雨量計



雨量監視装置

○地震対策

3箇所に設置した地震計で揺れの加速度を測定し、区間ごとに規制値を定め気象庁発表のデータと併せて運転規制を行っています。



地震計



地震警報器

○防災情報システム

風速、雨量、地震の震度、河川水位、橋脚洗堀、レール温度の情報を一元管理する防災情報システムを導入。（釜石駅～宮古駅間）



○津波対策

津波発生時の避難のために15地区の津波襲来注意箇所を設定し避難場所を指定しています。避難場所への目印として避難路看板、避難路界看板を設置するとともに、津波避難階段を2箇所設置しています。



避難路看板



避難路界看板



津波避難階段

5-2 社員教育

○定例勉強会

年間計画で毎月のテーマを定め、勉強会を実施しています。

○異常時対応訓練

1年に1回(主に6月頃)、異常時(列車火災・大地震・津波・信号故障・踏切事故等)を想定した実車による訓練を実施しています。

2023年度は、地震により運転中止となり、大津波警報が発令されたという想定で、田老駅において「地震及び津波発生時の運転取扱方」を実施しました。

実施日：6月23日、26日、28日



点呼



運転指令による状況確認と運転士への指示



運転士から乗客へ状況説明



高台の緊急避難場所へ移動



運転士から運転指令に避難完了報告



訓練後の検討会

5-3 その他

○ホームにおける安全対策

ホーム上のお客様の安全確保に向けて、車内における啓発放送の実施、新設駅での内方線付点状ブロックやホーム先端注意表示の整備を進めています。

○こども110番

トラブルに巻き込まれた児童救済のための緊急避難協力所として9駅に「こども110番の駅」ステッカーを表示しています。

○交通安全運動への参加

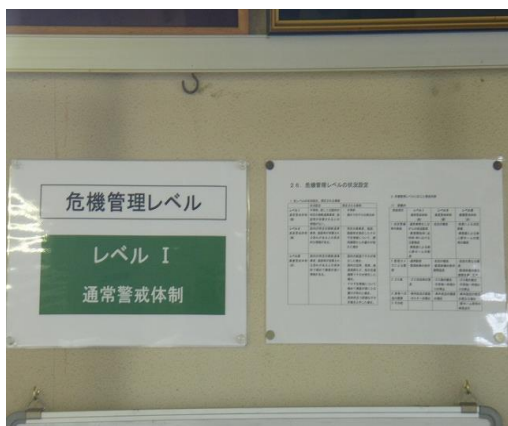
交通安全運動へ積極的に参加し、駅前などでのPR活動、踏切の安全通行に関する啓発活動などを行っています。

○テロ対策

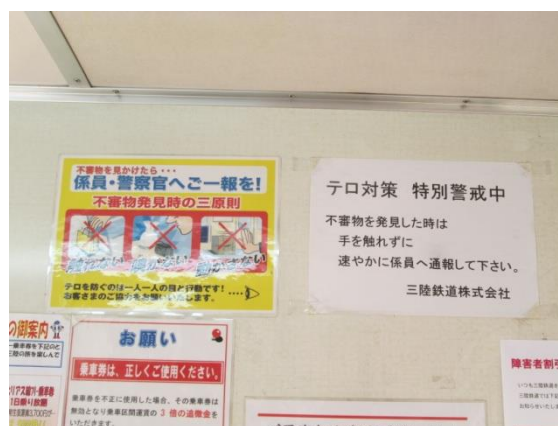
- ・危機管理レベルを設定し、社内に掲出しています。
- ・駅、車内等に不審物発見時の対応チラシを掲出し、お客様に注意を促しています。
- ・盛駅、釜石駅、宮古駅、久慈駅に防犯カメラを設置しています。



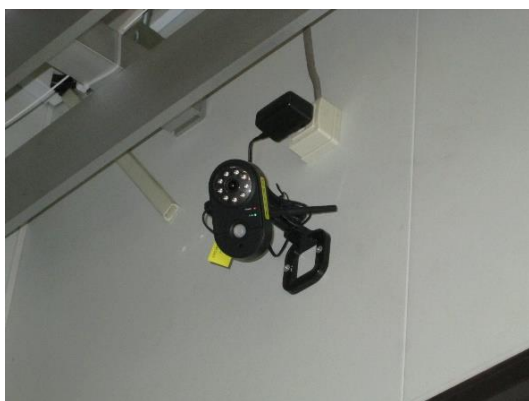
こども110番のステッカー



危機管理レベルの掲出状況



車内チラシ掲出状況



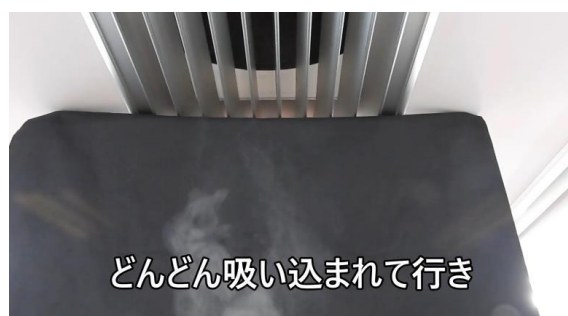
防犯カメラ設置状況

○新型コロナウイルス感染症対策

新型コロナウイルス感染症拡大防止対策として、次の取り組みを実施しています。

- ・ 社員の手洗い、手指の消毒、咳エチケットの徹底。
- ・ 駅待合室に体温測定器、消毒液を設置。
- ・ 列車内は抗ウイルス処理を施し、消毒液を設置し、運転中は常時換気を実施。
- ・ お客様と社員の間には仕切りを設置。
- ・ お客様に対する周知のためのポスターやチラシの掲出。

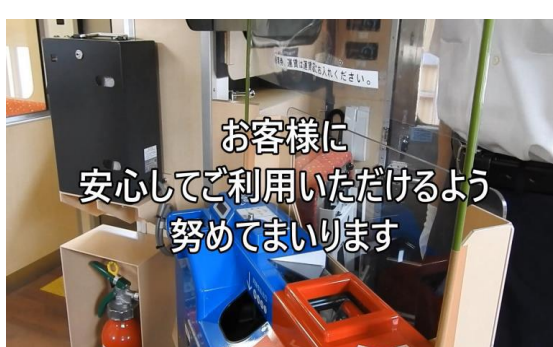
・ 車内の換気



・ 車内清掃



- ・車両や駅、売店等の接客箇所に飛沫感染防止用仕切りの設置
- ・駅待合室や車内に消毒用アルコールの設置



6 輸送の安全の実態

6-1 運転事故等の発生状況

○運転事故（列車火災、脱線等）の発生件数	0件
○インシデント（事故の恐れがある状況）の発生件数	0件
○輸送障害（列車の運休又は30分以上の遅延）の発生件数	
・車両又は設備が原因のもの	1件
・大雨、強風、地震、津波が原因のもの	21件
・列車支障	3件
・その他（動物等）	6件

6-2 災害等の発生状況

2023年度は大きな災害は発生しませんでした。

7 お客様とのコミュニケーション

○当社ホームページにおいて会社概要、列車時刻、運賃などをご案内しています。

ホームページアドレス <http://www.sanrikutetsudou.com>

○三鉄アプリで列車の位置情報をお知らせしています。

○盛駅、釜石駅、宮古駅、久慈駅に声の箱を設置して、お客様からのご意見を頂戴しています。

2024年7月

三陸鉄道株式会社

〒027-0076 岩手県宮古市栄町4番地

Tel 0193-62-8900

Fax 0193-63-2611